

# 育成 かながわ

◆発行責任者／神奈川県手をつなぐ育成会  
 会長 植松 みさご  
 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2  
 TEL 045-323-1106  
 FAX 045-324-0426  
 e-mail ijkanagawa\_k@yahoo.co.jp

## 第5回 全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会 京都大会

京  
み  
や  
こ  
か  
ら  
  
 ほ  
ほ  
え  
み  
  
 あ  
ふ  
れ  
る  
  
 新  
し  
い  
未  
来  
へ

京都大会は梅香る2月23日(土)、24日(日)に国立京都国際会館で開催されました。23日は「教育・療育」「はたらく」「高齢期」「暮らし」「権利擁護」「障害児者のきょうだい」の6つの分科会、バス観光ツアーと懇親会。24日は大会式典に続き、中央情勢報告、きたやまおさむ氏(精神科医、作詞家)の記念講演などがありました。県育成会からは17人が参加しました。

### ■ほほえみあふれる「暮らし」支援の構築

～みつけよう、はじめよう、自分らしい暮らしを！！～

野澤和弘氏(毎日新聞論説委員)の基調講演では多くの示唆ある内容がありましたが、重度の自閉症の長男の方との日常生活のいくつかの場面でのエピソードを伺うことができ、体験や経験を共有することの大切さ、そこからベストインタレストを伝えられる魅力ある親でありたいとのお話が印象に残りました。シンポジウムでは3名の支援者の方々から「その人らしい暮らし」のために「パーソナルでオーダーメイドの暮らしのレシピ」を作ろうという提案に共感した充実した分科会でした。  
 (茅ヶ崎支部 植松 みさご)

### ■「障害児者のきょうだい」の話をしよう

～本人の思い・親の思い・きょうだいの思い・きょうだいの会～

健常者の「きょうだい」の気持ちについて伺った話を報告します。▷お母さんを独り占めしたい、時々でよいから私のほうを向いてよ(家族の中心はいつも障がいのある子だ。しかしお母さんの苦労は見ているから「わがまま」は言えない)▷自分は優しい子でなければいけないの?(よく周りの人からあなたは障がいのある子がいるから優しいのねと言われる)▷介助の手伝いをしなくても良い日があってもいいのかな?(いつも介助役、パニック時の抑え役にまわってきたことを疎ましく思う事もある)▷友達を家に呼べない。家族の話しになると話題を変える(障がいのある「きょうだい」がいるとは言えないから)▷社会経験が乏しい(家族で公共の乗り物、外食、テーマパークなどに行ったことがない)▷母親は将来は自由にしていいたいよと言ってくれるが(自分の自由をしたい気持ちと、「きょうだい」の将来の面倒は誰がみるのかを思うと重い気持ちになる)。きょうだいの気持ちを聞いた貴重な時間でした。  
 (葉山支部 市倉 熙一郎)

## 感謝状受賞おめでとうございます！ 長年にわたり本人活動を支援 田野井 弥生さん

京都大会において、全国手をつなぐ育成会連合会より田野井弥生さんに感謝状が贈られました。

田野井さんは県育成会事務局職員として20年間勤務。退職後は障害者雇用の場である「ともしばしショップ」の事務局長として、本人スタッフの育成指導や就労先の開拓などに尽力されてきました。現在は本人の会「希望」の支援をされており、親とは違う目線で本人たちの社会的自立に向けた活動を続けていらっしゃいます。

思いもよらないご褒美を頂きとても嬉しいです。ありがとうございました。育成会の仕事は皆様に支えられ本当に楽しかったです。関わった方々が走馬灯のように浮かびます。だからこそ今も私のできる範囲で本人活動支援にかかわり、お役に立てればと思っています。これからも宜しくお願い致します。



## 特集 意思決定支援

### ① ～研修会～ 家族にできる「意思決定支援」

講師 大塚 晃氏〈上智大学総合人間科学部 社会福祉学科教授〉



11月13日（火）、藤沢商工会館ミナパークにおいて、参加者49名で意思決定支援についての研修会が開催されました。

大塚先生は、ご自身も自閉症の息子さんと生活されていて、息子さんとの日常や息子さんへの思い、またかつて施設職員として勤務されていた頃の経験もお話して下さい、とても興味深くお聞きしました。私自身、先生の作成されたシートにそって、意思決定支援において一番重要な本人理解のために、息子の好きな事苦手な事を書き出すことで、改めて息子の輪郭が太くなったような気がしました。意思決定支援は、本人の自己決定を可能な限り尊重する事ですが、人生で誰とどこで暮らすかというような重大な場面での意思決定においては、いまの息子には、選択出来るようなグループホームでの生活等の経験が全くないという事に気づきました。これからは、息子に色々な経験をしてもらい、多くの選択肢を提示することで、意思決定支援をしていこうと思いました。

〈藤沢支部 木村 靖子〉

#### 【好評だった大塚先生のワークシート】

ワークシートは「本人を知ろう（好きなこと・苦手なことなど）」「本人の意思は？」「課題となっている意思決定支援の内容（生活・人生・医療の領域）」「本人中心に書いてみよう」「選択肢を作ってみよう」「物語を作ってみよう」の6つの項目に分かれています。項目ごとにそれぞれが本人の事を考えながら記入し、その後1名が発表、それに対して先生がコメントする形で進められました。

保護者からは、サービス精神があるが、反面やり過ぎてしまう。臨機応変な対応が苦手。本当は大丈夫ではなくても本人は大丈夫と言ってしまふ。本人の食べたいという思いと健康管理の問題。関わりの中では公的な人が多くそれ以外の人が少ない。今までいくつかの選択肢から選ばせてきたが、選ばせることが難しい場合がある。先入観や常識にとらわれないので、そのことによって助けられたり教えられることも多い…などの話が出ました。

それに対して先生からは、チャレンジすることで選択肢が広がる。新しい提案をすることで生活の幅が広がる。本人の気持ちを推測し確認しながら見守るという認識を常に持っていることが大切とのことでした。またそれぞれが持っている固有のかけがえのないストーリーをもっと多くの人に知ってもらうことで理解が進み、地域共生社会となる。そして本人の事を真ん中に置いてみんなで考えていく支援の仕組み作りが大切と話されていました。

〈広報委員 諸星 由美子〉

#### 【参加者のアンケートより】

重度で発語もない本人の意思を汲み取ることは難しいのではないかと感じていた方が多くいましたが、本人のこれまでの生活やエピソードを思い起こしながら“本人の物語”をワークシートで作成していく中で多くの皆さんから「良かった」「子どものことをしっかり考えるきっかけになった」「本人の気持ちを改めて汲み取っていききたい」「このワークシートを個別支援計画やサービス等利用計画

などでも活用し、家族以外の本人に関わってくださる方にも広げていきたい」との声がありました。  
 大塚先生御自身もお子さんの障がいと向き合いながら、私たちと同じ悩みを抱えていらっしゃる  
 ので、「わかりやすく説得力のあるお話で良かった」という声もあり、先生のお人柄に親しみを感じ  
 られる研修会でした。  
 〈広報委員 鈴木 亜紀子〉

\*\*\*\*\*

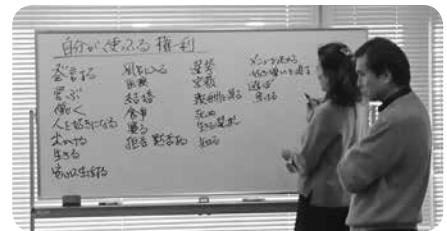
## ② ～理事会でのワークショップ～ 権利の行使は40%…？

2月1日（金）、県育成会理事会研修会で、「意思決定支援」のワークショップを社会福祉法人藤  
 沢育成会の小林博氏、NPO 法人成年後見センター かけはしの川田雪野氏をお迎えして開催されまし  
 た。小林氏から「自分で使っている権利をみんなで出し合ってみよう」という提案で、参加者同士「あ  
 れもそうだね」「これもそうだね」と、いくつか出たものを、障害のある我が子がどのくらい行使で  
 きているか点数をつけていくと、40パーセント弱となりました。皆、それぞれに考えるところがあっ  
 たのではないのでしょうか。

私も知的障害のある25歳の息子に、わが身に代えても守るという前提で関わってきましたが、本  
 当に彼の権利を大切にしてきたのかと、権利行使の数値の前に考えさせられました。良かれと思  
 い彼の思いとは逆のことをしているのでは、本当はもっと違う世界があったのでは、と悩みは尽きま  
 せん。誰もその時はベストインタレストと考えて、その時の課題に関わってきたのですが…。  
 ただ悩みと書きましたが、その都度関わってくださった療育施設の方、学校教育関係者、施設職員、  
 友人など、いつも息子のそばにいてくださった方と共に支えあえてこられたことは感謝せずには  
 いられません。いつも障害のある息子を一人の人間として敬意を払ってくださっていたことは間違い  
 ありません。後半、意思決定支援のアプローチをロールプレーを交えてお話を伺いました。漠然と  
 した意思決定支援でなく細分化された課題に焦点を当てていること、本人の「表出された意思」を  
 最大限引き出し読み取る支援であることなどから、今後期待したいと思いました。

今回の研修会から、お二人が本人の意思を表明することがで  
 きるような様々な取り組みをされていることが分かりました。ど  
 んなアプローチがあるにせよ、根本には親も支援者も当事者も  
 一人の人間として尊重されることを願っております。

〈綾瀬支部 大部 さつき〉



2019年度版

## 生活サポート総合補償制度

普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

**被保険者**  
(補償の対象者)  
知的障害者または自閉  
症児者をご加入できます。

**補償期間** (保険のご契約期間)  
**2019年4月1日から**  
**1年間**

**掛金** 入院2日目から補償プランB  
掛金… **23,000円**(保険料 19,810円)  
入院4日目から補償プランA  
掛金… **17,000円**(保険料 14,810円)

詳細は担当代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受  
 保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー**  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館2F  
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご加入のお問合せはこちら

引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**東京第二プロチャネル営業部**  
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階  
TEL: 03-6894-9110  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会  
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2  
神奈川県社会福祉会館内  
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
2018年11月現在の内容です。(D-003489 2019.11)

※ 2018年度は9,269名のご加入をいただきました。毎月1日付で加入できます。2019年度もよろしくお願いたします。



### 支部情報

各支部の情報を  
お待ちしております！



### 歌と気持ちが一つとなったクリスマス会

12月15日(土) 二宮町民センター

今回はクリスマスソング中心に、一人一人が主役の全員参加型で開催しました。参加者は57人。ピアノやバイオリンの才能あふれる子ども達の演奏に、感激したり、うっとりしたり。みんなで歌ったり、踊ったりと思ひ思ひの表現を楽しみました。子ども達の才能とチャレンジ精神に、元気と勇気をもらいました。毎年恒例のトナカイサンタが登場するとプレゼントにドキドキワクワクの子ども達の顔がいっぱい！今後も本人たちの活躍を楽しみに会員一同、活動を続けて参ります。

〈二宮支部 北山 弓子〉

### 祝 50 周年 海老名市手をつなぐ育成会・成人を祝う会

1月13日(日) レンブラントホテル海老名

海老名市手をつなぐ育成会は、親の会として昭和43年に結成され、今年で50周年を迎えました。施設入所が主流だった時代に、親たちは「障害のある人も共に地域で暮らしたい」という強い思いを一つにし、地域作業所や神奈川県では初めての「作業所に通う人のためのグループホーム」の設立に向け奮闘しました。この50年という節目に記念式典を開催し、しおりを作成して、先人たちの歩みに思いを馳せ会の歴史を皆で共有することができました。参加者128名はコース料理に舌鼓を打ち、音楽バンド「だったんじん」の演奏に合わせて歌ったり、踊ったりと楽しい時間を過ごしました。

〈海老名支部 藤田 精子〉

### 編集後記



この1年広報委員を無我夢中でやってきました。原稿をお願いした皆さんありがとうございました。縁もゆかりもない平塚で25年以来の友は今も私と息子を支えてくれます。前号より支部情報の挿絵をお願いしたところ息子の大好きなかつむりを描いてくれました。いろんな方に支えてもらいながら毎号作成できていることに改めて感謝です。

〈広報委員 鈴木 亜紀子〉

未来あんしんサポート

## 未来あんしんサポート

「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

親なきあとのこと... お考えですか?

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。

この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのこしませます。障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活がご心配のことかと思えます。「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただくためのご提案です。「生命保険信託」の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

お問い合わせはこちらへ  
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ  
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル  
0120-580-503 通話料 無料  
受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●ジェイアイシーは「個人情報の保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、[www.jaicgroup.co.jp](http://www.jaicgroup.co.jp)にてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

〔生命保険募集代理店・信託契約代理店〕

株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館2F  
ホームページ [www.jaicgroup.co.jp](http://www.jaicgroup.co.jp)

〔生命保険引受保険会社〕

FWD富士生命保険株式会社

〔所属信託会社〕

みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806